珠玉の如き

牧野信一

青空文庫

奥深い芸術の殿堂であつた。

山門をくゞり、径道をのぼつて、堂のほとりに達すると、常緑樹の翠の香が煙りの如く漂ふてゐた。

薄暗い廻廊を幾曲りして、（おゝこれは何といふ手のこんだ誤り易い、困難な、そして厄介な廊下であることよ。訪者は、ムカツ肚をたてゝ引き返すことがある、疳癪の舌打ちをして引き返すことがある、道に迷つて逃げ出すことがある……）漸く主の房に達すると、訪者は、三ツの光りが雨の日も風の日も、一抹の揺ぎもなく、静かに瞬いてゐるのを見た。——二ツの光りは、主人の眼光であつた。そして、一ツは主人のあらゆる努力をもつて、身をもつて、燭し続けられてゐる芸術の光である。……この殿堂の主は、人の世の多くの苦悩を、短き間に知り尽し、no Struggle, no Art! ——の厳たる珠光を示した。（ストラツグルのなきところにアートなし。）

今や主人の眼光は消え去つたが、永遠に生けるが如く、彼の珠光は益々光の翼をのべて、不断にいつまでも輝き、多くの訪者になつかしまるゝであらう。——惜しくも、彼の稀なる九折の回廊も共に消え去せたが、吾等は、常緑樹の翠の香が煙りの如く漂ふうちに——何時、何処でゞも、居ながらに、直ちに彼の悉くの珠玉の光りに接し得らるゝ——。

葛西善蔵全集・三巻で——。

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第三巻」筑摩書房
2002（平成14）年5月20日初版第1刷
底本の親本：「新正統派　第一巻第八号（九月号）」新正統派社
1928（昭和3）年9月1日発行
初出：「新正統派　第一巻第八号（九月号）」新正統派社
1928（昭和3）年9月1日発行
※小特集「葛西善蔵氏の追憶」に発表された。
入力：宮元淳一
校正：門田裕志
2011年8月1日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

珠玉の如き

牧野信一

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/